



2026年7月15日

各 位

会社名 株式会社Gunosy
代表者 代表取締役社長 西尾 健太郎
(コード番号: 6047 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 岩瀬 辰幸
最高財務責任者
(TEL. 03-5953-8030)

特別損失の計上及び2026年5月期通期連結業績予想と
実績値との差異に関するお知らせ

2026年1月14日に公表した2026年5月期通期(2025年6月1日~2026年5月31日)の連結業績予想における予想値と比較して、本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

①減損損失

当社及び当社子会社は、保有する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損処理を行い、減損損失69百万円を計上いたしました。

②投資有価証券評価損

当社子会社が純投資目的で保有する投資有価証券の一部について、市場価額及び財政状態や今後の見通しについて判定を行った結果、減損処理による投資有価証券評価損60百万円を計上いたしました。

2. 2026年5月期通期連結業績予想と実績値との差異(2025年6月1日~2026年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2026年1月14日)	百万円 6,450	百万円 250	百万円 360	百万円 134	円銭 5.60
今回実績値(B)	6,441	186	354	△11	△0.50
増減額(B-A)	△8	△63	△5	△145	—
増減率(%)	△0.1	△25.6	△1.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年5月期)	6,098	575	325	78	3.29

(注) 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

3. 差異が生じた理由

2026年5月期において、26年1月13日に公表した連結通期業績予想に対してメディア事業及び新規事業は営業利益について概ね想定どおりに推移しました。一方で、Gホールディングス事業においては、既存主力タイトルが好調に推移したものの、2027年5月期にリリースを予定しているタイトルに係る広告宣伝費を先行投資したこと、運営タイトルのサービス終了に伴う前渡金の未消化残高を費用計上したこと等により費用が増加した結果、営業利益については業績予想を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、「1. 特別損失の計上について」に記載の特別損失の計上をしたことから業績予想を下回りました。

連結業績及び個別業績に関する詳細は、本日（2026年7月15日）公表の「2026年5月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以 上